

# 宮陵会報

# Kyuu-Ryo

2022・12  
(令和4)

No.115

一般社団法人  
神奈川大学宮陵会  
広報委員会

〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学内  
TEL 045-481-5661  
(内線 2451~3)  
FAX 045-413-0791  
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



「我が青春の横浜キャンパスと新図書館」(絵 渡邊 恵子)

## 目次 No.115

宮陵会事務局からのお知らせ、会長あいさつ(随想)、表紙のことばなど	P2
『宮陵会報』(No114号)の読者の感想	P3
「湘南ひらつかキャンパス」最後のホームカミングデー報告	P4~P5
活躍する卒業生(横山朗さん、脇田絵美さん、石川拳大さん、井上徹さん、清水昭弘さん)	P6~P7、P15~P17
地域組織の魅力紹介(旭川宮陵会、京滋宮陵会、バンコク会)	P8、P13
22年度代議員選挙 代議員候補者名簿	P9~P12
本の紹介、「神奈川大学出版物など」のプレゼント情報	P14
卒業生の声(投稿)、読者プレゼント	P18~P20

## 宮陵会事務局 からのお知らせ



## キャベツの夕食

会長  
久保 清治

今は”飽食”の時代。若い時に猛勉のかたわら、自らを敢えて”断食”に近い状況に追い込むことも、貴重な体験・思い出になる。

私は院生になって初めて（昭和43年度から）、風呂・トイレ・台所のない6畳1間のひとり暮らしを始めた。「間借り」といって、当時、六角橋周辺では1畳につき月千円の賃借りが相場。まだ炊飯器は普及しておらず、電気コンロは防火のため不可。

そこで、食費を節約するため、1カ月のうち何日か、1日1食（夕食のみ）、生キャベツを千切りにし、しょうゆをかけ、4合瓶の牛乳で喉を潤す。結構お腹一杯になる（1食80円未満に収まった）。

今でもキャベツの入った料理は大好きだ。野菜炒め、ミソ汁、漬けもの、アジフライやトンカツの添え物として、中でもロール・キャベツは最高！そのお陰か、胃腸は、高齢の今もって丈夫です。

粗食で貧しい学生生活であったが、夢多き、六角橋での神大時代がたまらなく懐かしい。

## 表紙のことは

## 題名「我が青春の横浜キャンパスと新図書館」

2022（令和4）年10月制作 F10号

知の殿堂・新図書館と混沌とした青春を過ごした昭和50年代の横浜キャンパスを対比。読書が大好きで小学生の時は学校図書を全部読んだ。6年生の時は、百科事典しか読む本がなかった。

新図書館は立体。キャンパス全体は昭和50年代の平面の心象風景。左下「ローテファーネ」（喫茶店）、左上「11号棟ゼミ室」や中央部分の「9号館6階修学会」「10号館食堂でのサークル活動」「8号館の時計台」。

ゴッホの夜のカフェテラスを念頭に、しかしにぎやかな街角ではなく、静謐な図書館と複雑だった濃い学生時代4年間との対比を表現したかった。

渡邊恵子（1977年法学部法律学科卒）



※登録いただきました情報につきましては、皆様の個人情報の重要性を深く認識し、個人情報保護方針に従い適正な保護管理に努めています。

## ◇ 会議予定

理事会 2023(令和5)年2月4日(土)  
3月4日(土)  
3月25日(土) 予備日

## ◇ 年未年始休暇

2022(令和4)年12月28日(水)～2023(令和5)年1月6日(金)

## ◇ 地域組織 新代表者紹介

旭川宮陵会	昭54建	潮日出夫様
山口県(防長)宮陵会	昭54経	前山恒明様
男子ラグロス部 OB 宮陵会	平20.9法	植草佑太様
スケート部スピード部門OB・OG会	平25人科	小黒義明様

## ■ 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

2021(令和3)年7月31日

桑鶴 勉様(昭44法)

元鹿児島県宮陵会会長

■ 士職(弁護士 公認会計士・税理士 社会保険労務士)による無料相談会が再開 新型コロナウイルス感染症拡大で中断しておりました士職による無料相談会が、2022年10月から再開されました。卒業生の皆さまにご利用いただけます。なお、新型コロナウイルス感染拡大等によってやむなく中止する場合がありますことをご承知おきください。

▼開催日時 毎月第3土曜日(1月を除く)

2023年 2月18日(土) 3月18日(土)

▼各 日 ①10:00～ ②10:40～ ③11:20～(各30分)  
※事前予約制 木曜日の17時までにお申し込みください。

▼対 象 宮陵会会員(卒業生・在学生)

▼会 場 神奈川大学横浜キャンパス宮陵会館(30号館)  
※お越しになれない方は「電話による相談」も受け付けます。

▼相談時間 30分

▼相談料 無料※ただし、継続して相談する場合や、事件を依頼する場合の費用は相談担当者にお尋ねください。

▼申込方法 一般社団法人神奈川大学宮陵会 事務局窓口  
または電話 (045-481-5661 内線2451～3)、  
受付時間 平日9:00～17:00  
※予約は先着順となります。

## ◇ 事務局よりお願い

## 【会費納入について】

宮陵会の安定的な運営のため、会費の納入をお願い致します。会費が未納の場合は、会員資格が「普通会員」となり、代議員となる資格がなくなる場合があります。会費の納入依頼は、8月発送の『宮陵会報No.114』とともに会員の皆様にお届けしております。個々人の金額が明記されております。今一度ご確認ください。

## 【住所等の変更について】

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

①神奈川大学ホームページ

卒業生のひろば (<https://alumni.kanagawa-u.ac.jp/>) ⇒  
卒業生情報登録・変更のご案内

②FAX 045-413-0791

③E-mail [kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp](mailto:kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp)

昭和39年工業経営学科を卒業して58年。本年春傘寿（80歳）。無上の喜びです。No.114をご送付くださり、母校の発展する姿に接し本当にうれしく思います。2028年の創立100周年に向けてさらなる躍進を心から祈念申し上げます。

（三重県、S39年工経、男性）



・「卒業生の声」を読んだ。神大の4年間、法学部で学んだ。今考えると後悔ばかりだ。何事も徹底的にやらなければ何も残らない。

（静岡県、S46法律、男性）

・「新型コロナとキャンパスライフ」のコーナーが、学内の取り組みや学生の様子がわかり面白かった。

（神奈川県、H13経工、男性）

・久々に大学の現況や懐かしの風景を目にでき、とても感慨深かった。

（神奈川県、R2英文、男性）

・いつも楽しく拝読しています。目に留まった記事は、埼玉県宮陵会の「ラジオで交流を広げよう」、日芳佳奈子氏の「いくつになっても新しい挑戦を」、守屋紀洋氏の「考えるだけでなく 全力で挑戦する」です。いずれの記事も人生を垣間見ることができ、非常に参考になるとともに、自分への大きな刺激になりました。

（神奈川県、H4工経、男性）

・表紙絵の「みなとみらいキャンパスと県花ヤマユリ」が素晴らしい。それにつられて最後まで読み通した。毎朝の太極拳にかぶられています。

（神奈川県、S41第二法律、男性）



・毎号大学の行事内容を知り、感動している。これからも世界に発信していただきたい。

（神奈川県、S34経済、男性）

・若手OBの活躍を応援しています。

（神奈川県、S37法律、男性）

・「白楽駅に向かう学生たち」の写真は、私の在学中の約50年前の駅付近とは別世界のように。懐かしく、胸が締め付けられるような気持ちになった。あの頃に戻りたい。年齢70を迎えようとしている。長崎から青春時代を過ごした神大、白楽駅に思いを馳せている。

（長崎県、S51経済、男性）

・卒業後10年以上、定期的に送られる会報で母校の様子を知ることができ、楽しく読んでいます。コロ

## 『宮陵会報』（百十四号）読者の感想

本年7月発行の『宮陵会報』の感想を寄せていただきました。誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。その一部を紹介します。

（編集部）

・米田吉盛先生の時代に卒業し、その教えを糧に努力し、人生を歩み、現在に至り、91歳になります。

（東京都、S30短商、男性）

・「活躍する卒業生」「卒業生の声」を読み、全国各地で生き生きと活動している皆さんを知り、励まされている。今の職場にも先輩や後輩がいて、心強く働く毎日です。

（静岡県、S60英文、女性）

・会報を見る度に貧乏学生時代を思い出す。アルバイトばかりしていた。横須賀衣笠にあった「まぼろしの清輝寮」の生活を思い出す。

・ナ対策の「神大ルール」順守は、大変そうですね。

（和歌山県、H19法律、女性）

・OBが全国、世界中で活躍する様子がわかり、毎号楽しく拝読。

（愛知県、S46貿易、男性）

・昔を懐かしく拝読。発展目覚ましい大学や横浜の姿に、青春時代を思い出した。

（鳥取県、S42経済、男性）

・いつも楽しみに会報を拝読。後輩たちの活躍が嬉しい。卒業後に何をしているかの紹介が参考になります。励みにもなっています。

（神奈川県、H12短商、女性）

・楽しく拝読。卒業生の頑張りなどを目の当たりにして、たいへん鼓舞された。

（埼玉県、H29生物、男性）

・ここ2、3号の宮陵会報は読み応えがあります。特に卒業生からの文です。活躍する卒業生の文を読むと「ウン、ウン」と納得いくものばかりです。

・私も大手二輪メーカーに勤め、その二言を大事にして仕事に邁進、管理職として定年を迎えました。

（福島県、S54工経、男性）

・「活躍する卒業生」を拝読し励みになっています。これからも楽しみます。

（岐阜県、H25人科、女性）



# SHC「ホームカミングデーファイナル」が開かれる



理学部移転に伴い来年3月で学生の姿が消える湘南ひらつかキャンパス（SHC）で10月30日、卒業生を招く最後のイベント「ホームカミングデーファイナル」が行われた。1989（平成元）年に開設し、約2万5千人の有為な人材を世に送り出した大学の一大拠点が34年の歴史に幕を閉じる。事前予約で登録した約670人の卒業生が参加。青春時代を過ごした学び舎との別れを惜しんだ。（編集部）

## 恩師と卒業生の座談も

当日は好天に恵まれ、現役学生による平塚祭のバンド演奏などにぎやかな雰囲気の中、卒業生は思い思いにキャンパスを散策した。一部の研究室が開放されたり、34年間のキャンパスの様子を収めた写真展示のコーナーなど、青春時代の思い出に浸るには十分の企画が用意されており、締めくくりに豪華景品が当たる大抽選会も大いに盛り上がった。

メインイベントとも言える、恩師と卒業生が語り合う座談会は、経営学部と理学部に分かれて実施。会場はSHCに通う学生なら一度は講義を受けたという「階段教室」。経営学部では、自身も卒業生である湯川恵子教授がコーディネーターで石積勝名誉教授（元学長）、田中則仁教授とトークを展開。同学部の礎を築いた箕輪成男名誉教授、衣笠洋輔名誉教授ら多くの先生の功績を紹介したほか、久々に再会したかつての教

え子との対話にも話が弾んだ。「平キャンと呼んでいた」「購買と言えば梅屋」「マクドナルドがあったことを知っている」などと湯川教授がOGならではの質問を繰り出し、「答えで卒業年度が分かる」の言葉に、卒業生も大きくうなずいていた。

「くりかえし、くりかえし、そしてくりかえし試みよう」

田中教授は大学の現状について「本学は2022年、約4千4百人が入学した。この学生数を維持できればみなとみらいキャンパスに投じた資金は20年で完済できる」と経営の視点で安定した大学経営を報告。最後に石積名誉教授が卒業生への激励として、同学部の黎明期に尽力した故・丸岡洋司教授の言葉「くりかえし、くりかえし、そしてくりかえし試みよう」を紹介し、挑戦することの大切さを伝えた。



階段教室でのプレゼント抽選会



ありがとう平キャン／SHC 思い出写真展



1号館前広場でのバンド演奏



理学部オープンラボ





「34年の歴史を携えて  
横浜に移り、  
新しい神奈川大学を作る」

理学部は司会に木原伸浩教授（理  
学部長）、日野晶也名誉教授（前理  
事長）、山口和夫名誉教授、後藤智  
範教授が登壇。ハイテクリサーチセ  
ンター、バイオトップの完成についての  
エピソードなどで同学部の足跡を振  
り返った。

将来構想について各教授が言及。  
「理学部は、数学、物理、化学、生  
物、地球環境科学、総合理学の6コー  
スとなる。これにより、高校の数学  
と理科のすべての教科に相当するもの  
を理学部で取り扱える」（木原教授）  
「情報学部はデータサイエンスを教え  
る特別なコースを設ける。偏差値は  
上向き傾向で、研究の方向、学生の  
質ともに良くなっている」（後藤教授）  
「今までは外からしか見えなかった工  
学部と同じキャンパスで切磋琢磨でき  
る。総合大学なので文系の学部とも  
協力してほしい」（山口名誉教授）。

そして日野名誉教授は「SHCは教  
員や職員と距離感近かった。ゆった  
りした環境は素晴らしく未練はある  
が、大学としてこの条件で運営して  
いくには無理がある。34年の歴史を  
携えて横浜に移り、新しい神奈川大  
学を作る」と締めくくった。



平塚祭名物企画「打ち上げ花火」秦野市街地の夜景とともに

◇  
SHCはその役割を終えても、こ  
こで培われた業績や精神は、横浜  
キャンパスへしっかりと引き継がれて  
いく。

（写真提供 神奈川大学広報部）

20ページに  
「私にとっての  
湘南ひらつかキャンパス」  
の原稿募集要項が  
載っています。  
ご覧下さい。



土屋太鼓の演舞



開場前から多くの卒業生が来校（受付風景）



短冊寄せ書き&記念撮影コーナー



経営学部座談会



理学部座談会

# 神大ロースクールで学んで

SKY総合法律事務所

弁護士

横山

朗(46歳)

宮陵会監事



よこやま・あきら  
1976年(昭和51年)9月生まれ。神奈川県川崎市出身。2006(平成18)年大学院法律研究科法務専攻卒業。2007(平成19)年弁護士登録。2010(平成22)年SKY総合法律事務所開設。神奈川県弁護士会、事業再生実務家協会、全国倒産処理弁護士ネットワーク所属。

私は、2004(平成16)年4月、神奈川大学ロースクール(大学院法務研究科法務専攻。以下「神大ロースクール」といいます)に1期生として入学しました。入学者は50名で、そのうち私を含む15名は法学既修者として2年生からスタートすることとなりました。当時、ロースクールの入学競争はとても激しかったので、神大ロースクールに入学が決まったときは、ほっとしたことを良く覚えています。

私たち15名は、初めての入学生であり、また最初の卒業生となって初めて司法試験を受けることになる学生だったことから、先生方から大きな期待を寄せて頂き、熱心な指導を受けることができました。特に1年目(2年生)は、ほとんどの科目で毎回レポート作成や判例調査等の課題が出され、毎日必死に課題と授業に取り組みました。

2年目(3年生)からは課題と授業に加えて、有志の学生で自主ゼミを組んだり、司法試験の模擬試験を受けるなどして苦手科目の重点的な勉強

強や司法試験対策にも力を入れしました。その結果、毎日9時頃から19時頃までロースクール棟(1年目は11号館、2年目からは当時竣工したばかりの24号館)の自習室で過ごし、帰宅してからまた勉強するという生活になりました。なかでも、司法試験の論述試験対策として3年生4人で組んだ自主ゼミがとても役に立ち、後に4人全員が司法試験に合格して弁護士となりました。

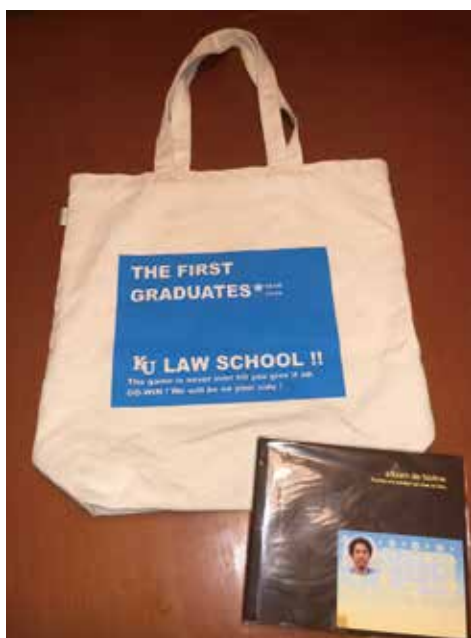


ロースクールでの司法試験合格祝賀会

ほぼ勉強漬けのロースクール生活でしたが、時には先生方に六角橋商店街で食事をご馳走して頂いたり、学生同士で飲み会やバーベキューをして息抜きを楽しみました。卒業時に在校生がオリジナルデザインのトートバッグと先生方からの激励メッセージ入りのアルバムをプレゼントしてくれたことや、司法試験合格後に神大ロースクールで合格祝賀会を開いてくださったことも、忘れられない思い出です。

弁護士となった後も、他の卒業生との交流は続いており、特に論述試験対策の自主ゼミをした同期生とは一緒に法律事務所を開いて、現在同じ事務所です。また、先輩が私たちの事務所を見学に来たときの様子が神大ロースクール発行の雑誌(神奈川ロージャーナル第4号)に掲載されたこともありま

した。私は、神大ロースクール



卒業時に贈られたオリジナルデザイントートバッグと  
激励メッセージ入りアルバム



# 世界を舞台に仕事をするー開発コンサルタントの世界へ

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング コンサルタント 脇田 絵美(34歳)

皆さまは「開発コンサルタント」という職業を聞いたことがあるでしょうか。JICA(国際協力機構)と共に、国際協力の現場でさまざまな調査や具体的な作業を実施し、中立的な立場から援助プランをひとつひとつ実現していく専門家です。

私は幼少期から「自分が知らない新しい世界」への興味が強く、今まで知らなかったことを新たに知ることが好きな活発な子どもでした。家



インタビュー中(ガーナ)

族でUNICEFのマンスリーサポートに寄付したり、両親が教師をしている学校のネイティブの先生方と関わったり、海外のことを知る機会にも恵まれており、中学生から高校生のおときには「国際的な仕事がしたい!」と思うようになりました。国際協力の仕事を具体的に志すきっかけは、大学時代のゼミでした。

ゼミ仲間と実施した東南アジアスダデーツアーで、カンボジアのプレアピヒア寺院遺跡を訪問しました。この遺跡は2008(平成20)年に世界遺産に登録された後、周辺地域の領有権を巡りタイとの国境紛争の舞台になってしまい、民間人を含む死傷者が相次ぎました。私が訪れたときには紛争は落ち着いていましたが、そのときに見た光景は今でも目に焼き付いています。世界遺産の看板に空く弾痕、爆弾でぼろぼろになった遺跡、すぐそこにある直径1メートルなるクラスター爆弾の痕、そして、そのクラスター爆弾の痕の周りで、笑顔で走り回って遊ぶカンボジア軍兵士の子どもたち。ものすごい衝撃で

した。「子どもたちが平和に暮らせる世界のために、仕事がしたい」。そう強く思い、国際協力の世界に飛び込みました。

フランスの大学院に進学し、インド生活を経て、晴れて開発コンサルタントとなりました。現在はアフリカやアジア、太平洋州などさまざまな国に出張で訪れています。ガーナやナイジェリア、コートジボワールでは農業に関する調査を行いました。現地の農家の方や農業銀行、農業資材店の方などから話を聞き、課題やニーズを考え、解決のために奮闘しています。実際にその国を訪れてみて分かることはとても多く、現地の人たちのパッションに励まされたり、市場の成長スピードに圧倒されたりと、大学時代に想像していた頃とはまた異なる視線で世界に触れています。この仕事を通して、今後はその国や地域独自の資源をたくさんの人に伝えていけるような、民間企業・住民・行政を巻き込んだ持続可能な地域発展の仕組みづくりに携わりたいと考えています。



わきた・えみ  
1988(昭和63)年9月神奈川県生まれ。2014(平成26)年経営学部国際経営学科卒。大学卒業後、フランスの大学院で文化財の経済開発学を修了。UNESCO/パリ本部の世界遺産センターで世界遺産委員会に携わる。その後、インドのIT企業勤務を経て現職。



ヤムスクロの街中(コートジボワール)

農地をゆっくり歩く牛(ベトナム)



# 地域組織の魅力紹介

## 日本最北の宮陵会

旭川宮陵会 潮 日出夫(65歳)

神奈川大学宮陵会で最も北にあるのが旭川宮陵会になります。北海道の真ん中に位置する旭川市を中心に、日本最北の岬・宗谷岬のある稚内市まで、道北地方の卒業生を会員として校友会活動を行っています。

北海道第2の都市(人口35万人)旭川市は、雄大な大雪山連峰を臨み、その山々を源流とする石狩川が市街地を流れ、自然豊かな四季折々の表情を日常的に感じることが出来



写真=作品名「初冠雪」。初冠雪の十勝岳上空を横切る飛行機  
撮影=旭川宮陵会 山本義則  
1971(昭和46)年経済学部貿易学科卒業

これまでに『宮陵会報』や『宮陵』で、43地域組織の魅力や話題などを紹介してきました。本号では旭川、京滋、バンコク会の3宮陵会を紹介します。

ます。

これから冬を迎えますが、明治35(1902)年1月25日に観測された「氷点下(マイナス)41度」は日本最低気温の記録として現在も更新されていません。冷え込む事を方言で「凍れる」と言います。近年凍れる日は減少傾向にありますが、変わらずに、晴天の凍れた朝には「ダイヤモンドダスト」が輝いています。

夏はゴルフ、冬はスキーが存分に楽しめる旭川市は、都市型スキーリゾートの街として人気が高く、市内から30分圏内にある極上のパウダースノーを楽しめる6つのスキー場には、家族のゲレンデデビューなど、目的に合わせて国内外の旅行客が訪れます。旭川空港は冬でもほとんど欠航がなく、就航率99.8%！安心して旅行プランを立てられます。

アフタースキーには豊かな北海道ならではの「食」が楽しめます。北海道の中央に位置する旭川市は、物流の拠点として栄え、内陸にありながらオホーツク海・日本海・太平洋の3つの海から新鮮な海産物が運ばれてくるため、美味しい海の幸を味わうことが出来ます。また豊かな農産物も喜ばれています。「酒」は大雪山の伏流水と美味しい米で作られる日本酒が有名で「北の灘」

の地酒を堪能出来ます。全国の宮陵会会員の皆様、冬の旭川を是非一度訪れてみてください。

うしお・ひでお  
◎会長 1979(昭和54)年  
工学部建築学科卒業

## 私の人生「ア一面白かった」

京滋宮陵会 田代 圭介(76歳)



最近、歌手吉田拓郎さんの卒業・引退コンサートのテレビを見た。彼と年齢

がほぼ同じの私は、神大横浜キャンパスの芝生の上で、ギターを持って仲間と彼の歌を歌ったことが思い出され、懐かしさの余り目頭が熱くなった。歌は不思議なもので、次から次へと学生時代のことが思い出される。

滋賀の田舎の高校から横浜に出て、大学では応用化学科に進んだが勉強したという記憶はほとんどない。ただ一つ忘れられない失敗は、物理の試験を一夜漬けで徹夜勉強し、朝方少しだけ眠ってしまい、目が覚めたのが翌日の昼過ぎ。結局単位を落としました。

普段神大のことをすっかり忘れてい

るのに、時折郵送していただく宮陵会の冊子を見ると、また思い出す。目を通すと、「みなとみらいキャンパス」など発展するわが母校に嬉しさと誇りを覚える。ただ、私の中では約五十年前の神大が止まったままである。

東横線の白楽駅、六角橋商店街はそのままでろうか、近くのマージャン荘、喫茶店はどうなったかな。「朝まで騒がしい」と叱られた下宿のおばさんは元気かな? (ご存命であるはずがないのに)

もともと音楽好きの私は、ハワイアンの軽音楽部でギターを始めた。これが、私のそれからの人生を楽しみくさせたきっかけかも知れない。このクラブが学生生活の全てとなり、演奏活動、合宿など忘れられない日々となった。途中私にはギターの才能はないと気が付き、コンサートの司会なども任せられ、決して上手くはないが人前で話すこと、これが将来の企業活動にも役立つように思う。

卒業後は家庭用消費剤メーカーのグローバル企業の研究室に入社し、海外出張を含む外国人との折衝や仕事を何とかこなせた。大げさに言えば、学生時代のさまざまな体験と友との出会いが、もともと消極的でシャイな私の性格を積極的な方向へと変えてくれた。



# 2022年度代議員選挙 代議員候補者名簿

## 2022年度代議員選挙 代議員候補者の公示について

2022年8月1日に公示いたしました代議員選挙につきまして、本委員会において代議員候補者推薦委員会による推薦候補者並びに立候補者の届出を審査いたしました結果、196名が被選挙人の資格を満たしており、代議員候補者として確定いたしました。

## 2022年度代議員選挙 代議員当選者の確定について

代議員候補者が定数(210名)を超えておりませんので、一般社団法人神奈川大学宮陵会代議員選任規程第9条第2項の規定により、候補者全員の無投票当選が確定いたしました。

一般社団法人 神奈川大学宮陵会  
代議員選挙管理委員会  
委員長 原田 浩行

(参考)

一般社団法人神奈川大学宮陵会代議員選任規程

第9条第2項 代議員候補者が定数を超えない場合は、投票を行わない。

代議員候補者をもって当選者とする。

番号	卒年	学科等	氏名	性別	勤務先等	勤務先役職等	
1	昭和	30	経	狩野 七郎	男	狩野税務会計事務所	税理士(所長)
2	昭和	35	経	磯邊 晃	男	(元)米国フィデュシアリトラストインターナショナル投資顧問(株)	代表取締役社長
3	昭和	35	経	片岩 光弘	男	(元)日野ボデー整備(株)	社長
4	昭和	36	経	杉村 美智子	女	(元)日本鋼管(株) 鶴見製鉄所	
5	昭和	39	法	山本 義弘	男		
6	昭和	40	経	松浦 修	男	(元)大垣共立銀行 / (元)坂祝町	支店長 / 議員・副議長
7	昭和	40	工経	庄子 忠宏	男	(元)不二サッシ(株)	
8	昭和	40	短商	花島 幸子	女	(元)カワイ音楽教室	講師
9	昭和	41	法	武笠 健次	男		
10	昭和	41	経	天野 和彦	男	(元)(株)京都新阪急ホテル	代表取締役社長
11	昭和	41	経	巽 正博	男	和歌山電工(株)	特別顧問
12	昭和	41	質	高名 洽	男	(株)レッグズアンドハンズ	代表取締役
13	昭和	41	工経	川口 正寿	男	川口白鳳(株)	専務取締役
14	昭和	41	工経	和田 英雄	男	(元)神奈川機器工業(株)	
15	昭和	42	法	小川 隆司	男	(元)千葉県夷隅土木事務所	嘱託
16	昭和	42	経	原田 恵介	男	会社役員	
17	昭和	42	経	藤井 洋	男	トーヨー(株)	代表取締役
18	昭和	42	応化	渡邊 修三	男	(元)デンカ(株)	
19	昭和	43	法	木村 崇行	男	(元)(株)ニチロ	
20	昭和	43	法	橋爪 修三	男	(元)(財)北見市勤労者福祉サービスセンター	事務局長
21	昭和	43	経	岩井 志郎	男	(株)イワイテクニカ	会長
22	昭和	43	経	岡部 勝美	男	(株)TOKAI	
23	昭和	43	経	吉村 勝利	男	(元)佐世保市役所	
24	昭和	43	質	浅野 博之	男	三洋テクニクス(株)	取締役会長
25	昭和	43	質	久保 清治	男	(元)横浜商科大学	学長・教授
26	昭和	43	質	鈴木 弘宣	男	(元)PERSONNEL CONSULTANT MANPOWER Co.,LTD.	Executive Advisor
27	昭和	43	質	三縄 昭男	男	三縄昭男公認会計士事務所	代表
28	昭和	43	工経	伊藤 正幸	男	(元)(株)大嶋電機製作所	取締役社長
29	昭和	44	法	伊藤 恵一	男	白神不動産	
30	昭和	44	法	齋藤 勤	男	(学)神奈川大学	副理事長
31	昭和	44	法	白岩 征之	男	税理士法人きずな会計事務所	代表社員 税理士
32	昭和	44	経	片山 正敏	男	(元)神奈川銀行	企画部長
33	昭和	44	経	鈴木 忠	男	(株)旭倉庫	代表取締役会長
34	昭和	44	経	村上 昌弘	男	(宗)日出山神社	宮司

番号	卒年	学科等	氏名	性別	勤務先等	勤務先役職等	
35	昭和	44	機	田代 旦治	男	(有)エステイト・フェニックス	代表取締役社長
36	昭和	45	法	大石 一二	男	大阪法律センター	弁護士
37	昭和	45	法	島田 武仁	男	(元)全国建設工事業国民健康保険組合	徳島県支部 事務局長
38	昭和	45	法	城納 一昭	男	(元)広島県/(元)株)マツダ/(学)広島女学院/生活協同組合ひろしま	(元)副知事/(元)取締役/理事/理事
39	昭和	45	法	細谷 憲二	男	中央観光(株)	取締役会長
40	昭和	45	法	矢野 義博	男	(元)宮崎市	地域コーディネーター
41	昭和	45	経	今田 正紀	男	今田会計事務所	所長(税理士)
42	昭和	45	経	佐藤 重夫	男	労働保険事務組合神奈川SR 経営労務センター	会長 社会保険労務士
43	昭和	45	経	中野 健一	男	(元)横浜銀行	支店長
44	昭和	45	貿	飯田 敏一	男	不動産賃貸業	
45	昭和	45	貿	淀川 了一	男		
46	昭和	45	機	粕谷 和弘	男	(株)和宏製作所	取締役営業部長
47	昭和	45	建	山本 俊雄	男	(元)神奈川大学	
48	昭和	46	法	鈴木 和夫	男	(元)湘南信用金庫	
49	昭和	46	法	藤井 俊二	男	創価大学	名誉教授
50	昭和	46	経	杉崎 和紀	男	(元)函館信用金庫	常勤理事
51	昭和	46	経	多湖 秀明	男	(有)大喜	代表取締役
52	昭和	46	英	原 柳作	男	(元)神奈川新聞社	理事
53	昭和	47	法	春原 正三郎	男	(元)共和証券(株)	取締役営業本部長
54	昭和	47	法	山本 正芳	男	(元)石川テレビ放送(株)	
55	昭和	47	経	伊藤 孝雄	男	(株)エフケイ・ジャパン	代表取締役
56	昭和	47	経	木谷 健一	男	木谷不動産	代表
57	昭和	47	経	山内 富親	男	(元)百十四銀行	
58	昭和	47	貿	石田 博英	男	(株)アイプラスプラス	監査役
59	昭和	47	貿	川名 明德	男	メイトクリニック鶴見	院長 医師
60	昭和	47	英	泉澤 高光	男	サンパックス(株)	取締役会長
61	昭和	47	機	浦 晴雄	男	(元)エア・ウォーター・メンテナンス(株)	代表取締役社長
62	昭和	47	電	吉野 徹	男	(株)エービーエム	会社役員
63	昭和	47	工経	小澤 幸夫	男	(元)神奈川大学	工学部情報システム創成学科 助教
64	昭和	48	法	大川井 恒夫	男	(元)アズフィット(株)	センター長
65	昭和	48	法	清貞 徹	男	(株)広研クラフト	代表取締役
66	昭和	48	法	佐藤 文一	男	貸家業	
67	昭和	48	法	中村 久仁茂	男	(元)浜松市役所	
68	昭和	48	法	夏秋 博隆	男	久保田まちづくり協議会	事務局長
69	昭和	48	経	小熊 正志	男	おぐまや	会長
70	昭和	48	経	藤井 薫	男		
71	昭和	48	経	宮澤 俊次	男	ナチュラルコム(株)	代表取締役
72	昭和	48	経	吉田 良一	男	(元)セイノーシンガポール	CEO
73	昭和	48	貿	河崎 泰秀	男	三菱地所コミュニティ(株)	
74	昭和	48	貿	木村 仁	男	(株)カレンズ	代表取締役
75	昭和	48	貿	熊澤 明	男	(元)湘南信用金庫	事務統括部事務集中課調査役
76	昭和	48	貿	小林 二三夫	男	小林二三夫行政書士事務所	行政書士、ファッションプランナー
77	昭和	48	貿	塩塚 定雄	男	(元)(学)神奈川大学	調査役
78	昭和	48	貿	和田 志朗	男	(元)(株)和田商店	相談役
79	昭和	48	機	朝山 隆	男	(元)清水鋼鐵(株)	
80	昭和	48	機	西村 治寿賀	男	農業	
81	昭和	48	機	本田 進	男	(元)(株)中部プラントサービス	
82	昭和	48	応化	関根 康生	男	(同)関根技術士事務所	代表
83	昭和	48	工経	實方 誠一	男	(元)ハンスイ	代表取締役
84	昭和	49	法	一戸 貞壽	男	(元)神奈川県警 警察学校	庶務部長
85	昭和	49	法	岩田 文明	男	鳥取県保護司会連合会	会長
86	昭和	49	法	桐生 秀昭	男	神奈川県議会	議員
87	昭和	49	法	出口 照雄	男	(有)出口コンサルティングオフィス/出口行政書士事務所	代表取締役/代表
88	昭和	49	経	久米 信行	男	(学)貞静学園/(学)鶴岡学園	監事/監事
89	昭和	50	法	大野 実	男	社会保険労務士法人大野事務所	代表社員 社会保険労務士

番号	卒年	学科等	氏名	性別	勤務先等	勤務先役職等	
90	昭和	50	法	保喜 誠	男	(元)ナラサキ産業(株)	旭川支店 支店長
91	昭和	50	経	八木 健治	男		
92	昭和	50	貿	高見 弘則	男	(元)(株)池田銀行	
93	昭和	50	貿	武田 幸夫	男	(株)アド・リブ	会長
94	昭和	50	貿	中村 郁夫	男	さぬき市社会福祉協議会 日盛の里	
95	昭和	50	貿	藤田 伸哉	男	税理士法人大門	税理士
96	昭和	50	英	亀山 修一	男	ムラカワ(株)	顧問
97	昭和	50	工経	篠原 政行	男	(元)(株)ミツバノ(元)(株)中島	
98	昭和	50	建	内田 青蔵	男	神奈川大学	学部長・教授
99	昭和	50	建	内村 博隆	男	(元)沼津市役所	企画部長
100	昭和	51	法	三宮 政俊	男	西湘法律事務所	弁護士
101	昭和	51	機	内藤 正久	男	(元)京浜急行電鉄(株)	
102	昭和	52	法	森川 藏	男	(元)京都府綾部市立綾部中学校	校長
103	昭和	52	法	渡邊 恵子	女	(公社)二科会	会友(画家)
104	昭和	52	経	吉村 重男	男	川本工業(株)	営業本部 顧問
105	昭和	52	英	野口 等	男	窓研トーヨー住器(株)	代表取締役
106	昭和	52	工経	坂本 郁夫	男	パラマウントベッド(株)	常務取締役
107	昭和	52	建	阿佐慶 正秀	男	(元)糸満市役所	
108	昭和	53	経	内山 曜子	女	農業ノ(元)読売新聞柿生南部	
109	昭和	53	貿	河野 雅年	男	(元)アルフレッサ(株)	
110	昭和	53	貿	西脇 幸二	男	(元)日本アイ・ビー・エム(株)	
111	昭和	53	工経	田口 澄也	男	セレサ川崎農業協同組合	代表理事 副組合長
112	昭和	54	法	小島 弘	男	相鉄ホールディングス(株)	常勤監査役
113	昭和	54	法	庄子 さち子	女	(株)ループ	シニアモデル
114	昭和	54	経	熊谷 耕史	男		
115	昭和	54	経	前山 恒明	男	(元)西中国信用金庫	部長
116	昭和	54	応化	飯田 健一	男	(元)多摩市役所	主査
117	昭和	54	建	潮 日出夫	男	(株)イサミヤールビー	代表取締役
118	昭和	55	法	高橋 三樹夫	男	(元)横浜市役所	
119	昭和	55	法	廣澤 一雄	男	(株)八雲堂	代表取締役社長
120	昭和	55	経	勝俣 信行	男	箱根セントラル生コン(株)	代表取締役
121	昭和	55	英	立花 久穂	男	神田外語大学	IBC 学科 非常勤講師
122	昭和	55	建	阿部 崇	男	川本工業(株)	専任部長
123	昭和	56	法	石原 誠二	男	関内大通り公証役場	公証人
124	昭和	56	法	伊東 慎介	男	横浜港埠頭(株)	代表取締役社長
125	昭和	56	法	筒井 のり子	女	(特非)めぐみ	介護福祉士・生活相談員
126	昭和	56	法	萩谷 恵里子	女	(公財)水谷糖質科学振興財団	事務局長
127	昭和	56	経	相神 一裕	男	マルセル(株)	取締役 監査等委員
128	昭和	56	経	佐藤 武	男	(学)神奈川大学	理事長付審議役
129	昭和	56	経	堤 省三	男	(株)東京商工リサーチ	監査役
130	昭和	56	英	石川 祥子	女		
131	昭和	57	貿	杉野 正	男	T&S コンサルティング(株)	代表取締役
132	昭和	57	経	永和田 隆一	男	日本私立学校振興・共済事業団	監事(非常勤)
133	昭和	58	法	佐藤 正浩	男	クリエートメディック(株)	代表取締役社長
134	昭和	58	法	堀江 美由紀	女	(学)神奈川大学	図書館事務部長
135	昭和	58	経	品田 文子	女	(株)ZEN ウェルネス	事業本部課長兼管理課長
136	昭和	58	貿	永田 晴彦	男	(株)新アカデミー	執行役員
137	昭和	58	西	北原 安代	女		フィットネスインストラクター
138	昭和	58	建	永川 武	男	地方共同法人日本下水道事業団	関東・北陸総合事業所北陸事務所
139	昭和	59	法	萩原 くみこ	女	社労士東灘合同事務所 オフィス萩原	所長(社会保険労務士)
140	昭和	59	貿	松坂 宏昭	男	(株)アクシス	営業部スーパーバイザー開発部マネージャー
141	昭和	60	法	三橋 英之	男	作新学院高等学校	教諭 吹奏楽部顧問
142	昭和	60	貿	土屋 晴男	男	NEXTWAY(株)	
143	昭和	60	英	手塚 正	男	(株)中央梱包運輸	顧問
144	昭和	60	電	貞方 康伸	男	NECマネジメントパートナー(株)	調達サービス事業部エキスパート

番号	卒年	学科等	氏名	性別	勤務先等	勤務先役職等	
145	昭和	60	建	山中 憲幸	男	(株)プランディー	建築設備企画室 室長
146	昭和	61	法	後田多 敦	男	神奈川大学	教授
147	昭和	61	西	竹山 留美子	女	関前工業(株)	
148	昭和	62	経	木村 隆	男	東芝保険サービス(株)	常務取締役
149	昭和	62	経	柴崎 孝志	男	笹田実業(株)	営業部部长代理
150	昭和	62	経	谷本 孝幸	男	川崎信用金庫	
151	昭和	62	経	能重 幸夫	男	(学)神奈川大学	事務局次長兼教務部事務部長
152	昭和	62	質	新堀 史明	男	神奈川県議会	議員
153	昭和	62	応化	指旗 博	男	藤沢市役所	下水道部 下水道総務課 主幹
154	昭和	62	建	馬場 英吉	男	(株)丸孝	代表取締役
155	昭和	63	法	松本 竜郎	男	ティーオーエル(株)	専務取締役
156	昭和	63	経	小松 秀喜	男	横浜信用金庫	事務サービス部シニアマネジャー
157	昭和	63	質	和知 親裕	男	神奈川新聞社	読者コミュニケーション局 開発管理部長
158	平成	1	法	岡田 久美子	女	札幌学院大学	法学部教授
159	平成	1	経	村井 英一	男	家計の診断・相談室	代表/ファイナンシャルプランナー
160	平成	2	法	成岡 祐輔	男	入交石油(株)	代表取締役社長
161	平成	3	質	春山 貴広	男	GLOBIZZ CORP.	President
162	平成	4	質	永田 輝樹	男	神奈川県議会	議員
163	平成	5	質	八ッ橋 治郎	男	神奈川大学	経済学部 准教授
164	平成	5	国経	川野 祐二	男	下関市立大学	教授
165	平成	5	応化	勝又 章好	男	(学)神奈川大学	みなとみらい統括部 部長
166	平成	6	法	小峰 浩	男	湘南信用金庫	総合企画部 執行役員
167	平成	6	英	加納 恵美子	女		
168	平成	6	情報	村山 宏幸	男	(学)神奈川大学	情報システム推進部部长
169	平成	6	応化	赤井 昭二	男	女子栄養大学	教授
170	平成	7	法	難波 知人	男	(株)関東日立 北南東支社	部長
171	平成	7	国経	金井 保憲	男	かない社会保険労務士事務所	代表
172	平成	9	経	小菅 貴春	男	(株)小菅不動産	代表取締役
173	平成	9	経	松井 晋一	男	ショーワテック(株)	代表取締役
174	平成	9	化学	永田 雅人	男	(医)村田会 村田会湘南訪問介護ステーション	訪問介護員
175	平成	10	法	高山 現人	男	(公財)横浜企業経営支援財団	総務部総務課長
176	平成	11	国経	矢島 俊明	男	(株)バイフードサービス	取締役総務部長
177	平成	11	化学	平出 功	男	(公財)日本分析センター	分析部・調査役
178	平成	12.9	質	小野田 雅一	男	衆議院議員塩谷立事務所	秘書
179	平成	12	国経	湯川 恵子	女	神奈川大学	経営学部 教授
180	平成	13	法	松永 仁美	女		
181	平成	13	経	近 聡子	女	(株)三奥屋	常務取締役
182	平成	14	経	舟倉 大輔	男	舟倉大輔税理士事務所	税理士
183	平成	15	経	棟方 久美子	女	横浜信用金庫	吉野町支店 お客様サービス課長
184	平成	15	質	中村 友美	女	アーツアンドクラフツ(株)	マネージャー
185	平成	16	国経	松田 孝一	男	(有)松田工務店	代表取締役
186	平成	17	質	大塚 友広	男	(株)イノベーション/izuru(株)/(一社)アジアジュニアゴルフ協会	執行役員/ 代表取締役/ 理事
187	平成	17	経博前	金子 浩也	男	税理士法人エスケーワイ	社員
188	平成	18	中国	武井 克真	男	白鷺国際/(一社)アジアビジネス連携協議会	共同代表/ 理事・事務局長
189	平成	18	法務	横山 朗	男	SKY 総合法律事務所	弁護士
190	平成	19	自治	高嶺 徹	男	(学)神奈川大学	
191	平成	20.9	生物	齋藤 礼弥	男	神奈川大学	理学部生物科学科 非常勤講師
192	平成	21	自治	加藤 央之	男	(株)物語コーポレーション	代表取締役社長
193	平成	23	経	水野 千夏	女	(株)せん	代表取締役社長
194	平成	23	現ビ	棚橋 彩香	女	(株)テレビ静岡	
195	平成	24	国経	下村 亜里紗	女	明治安田生命保険(相)	
196	平成	25	国文	村竹 渚	女		

注)番号 卒業年・学科順

定年退職後、近くの医薬研究所へ再就職。二年前に完全退職し、現在、私は息子が開業する内科クリニックの理事だそう。理事といっても名前だけで、中身は雑用専門のただのおじいちゃん。ただ、神大でのギターと友人との思い出が忘れられず、卒業以来いまだに音楽活動を続けている。ギターではなく何と尺八で、ポツプスや演歌、ジャズまで楽しんでる。もう八十歳が見えているが、私は吉田拓郎さんの時代から離れられないのである。

学生生活はもちろん「お陰様で、健康で、私の人生、ア一面白かった」と振り返りたい。そしてこの原点は、右も左も分からない横浜の未知の地を踏んだ神大から始まったような気がする。

たしろ けいすけ  
◎理事 1972(昭和47)年

工学部応用化学科卒業

### 歴史のある海外地域組織

#### タイ、バンコク会

バンコク会 小林 豊(74歳)

タイ、バンコクと言えば、日系企業が進出してタイ経済に大きく貢献している国で、日本人が約10万人生活しています。市内には、日本人が利用する飲食店、商店が多く存在しています。さらには、電車、地下鉄などの交通インフラに恵まれていて快適な生活をインジョイしています。

よって、駐在員にとって人気のある赴任地となっています。

このような現状から、さかのぼること約50年前の1938(昭和13)年、横浜専門学校(神奈川大学の前身)を卒業された西野順治郎氏と大橋寅治郎氏を中心に1969(昭和44)年神奈川大学バンコクOB会が結成されています。

偉業を成し遂げた西野氏については、ウイキペディアに大きく紹介されています。

また、大橋寅治郎氏は1963(昭和38)年法経学部貿易学科卒で、日野セールスタイルランド社長を歴任し、さらにタイ国日本人会会長を6年間歴任し、現在84歳で当会の名誉会長をお願いしています。この二人の実績を引き継ぎ、現在は小林実氏が会長代行に就任しています。

約50年の実績を持つ当組織は、今後ともタイ社会に溶け込み活動を続けて行くことでしょう。約3年前、事務局長が本国に帰国して、休眠状態に陥りましたが、多くの会員により再建され、活発な活動を行っています。海外組織のため、会員間の親睦や情報交換のための例会と飲み会を半年に一回程度の頻度で行っています。

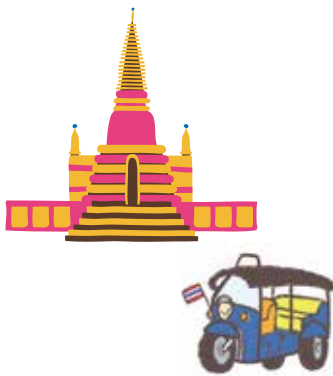
最後に、先に紹介した西野順治郎氏について、さらに紹介したい。検索画面にて「タイ自由ランド、西野」のキーワードにてヒットします。小生が筆者で、同氏の伝記を連載中です。



和気あいあいの例会風景(前列右側が筆者)

こばやし ゆたか  
◎会長代行 1972(昭和47)年

工学部建築学科卒業



### プレゼント当選者からの礼状

『宮陵会報』No.114 読者プレゼントで、箱根保養所宿泊券に当選された方から、左記のお礼のメールが届きました。紹介させていただきます。(編集部)

いつも会報誌を楽ししく読ませていただいております。本学の卒業生、在校生、また関係者の皆さまの活躍、そしてキャンパス、施設の充実ぶりには目を見張るものがあります。一卒業生として誇らしく思います。

さて、突然メールさせていただきましたのは、お礼でございます。先日「宮陵会報」(No.114)にて読者プレゼントに応募し、抽選で箱根保養所のペア宿泊券を当ていただきました。ありがとうございます。早速、家内と利用させていただきます。

保養所といっても、ちょっとしたホテル並みの施設、お料理、居心地の良さです。また近隣は美術館や植物園、仙石原のすずき、公時神社などロケーションも抜群でした。実は家内が今年還暦を迎えました。そのお祝いで、ささやかながら、保養所を利用させていただきます。次第です。

(中略)  
秋の箱根、そして保養所滞在を満喫させていただきました。期間限定の土瓶蒸しも、とても美味しかったです。家内も満足してくれた様子で何よりでした。保養所スタッフの皆さまにもよろしくお伝えください。すっかり気に入って、次回は、年末、お世話になるかと予定しております。私も定年が近づき、母校の保養所でゆっくり色んな思いに浸ろうなどと考えております。

以上、とりとめも無い文章で申し訳ありません。先ずは、御礼まで。これからも宮陵会の益々の繁栄をお祈り申し上げております。

(千葉県 男性)

新刊  
紹介

## 『学校という「ハコモノ」が日本を救う!』

神奈川大学人間科学部教授 大竹和弘 著

公立学校は、日本中の人口密集地に集中し、しかも全国各地に大量に存在している。しかし、その充実した施設群は、1年のうち170日間も活用されていない。そこで学校を、教員免許を持った教師だけの聖域とせず地域の共有資産としての「ハコモノ」と考え、塾やスポーツ系企業、警備会社などの民間事業者に運営参入してもらおう。すると地域の高齢者やボランティアが集う、まさに地域の「中核」に生まれ変わる。そしてそこは、「教育格差」や「孤食」を解消する、子どもたちの憩いの場所になる。

これは絵空事ではない。なぜなら、この手法は既に日本各地の刑務所の運営に使われ、成功しているシステムを踏襲しているからだ。官民連携の教育、そのために活用すべき学校という「ハコモノ」の可能性を、世界の事例も交えて全ての教育関係者、自治体関係者に問う、渾身の書!!



### ■出版社

白秋社（東京都千代田区飯田橋 4-4-8 朝日ビル）

### ■判型 四六判、208 ページ

### ■価格 1,980 円（税込み）

◎近くの書店、ネット書店、またはブックサービス（電話 0120-29-9625）で。デジタル版でも読めます。



## 本のプレゼント



希望者に神奈川大学などが発行した下記の本をプレゼントします。希望者は、はがきに、希望する番号（本のタイトル）と郵便番号、住所、氏名、卒業年と卒業学科及び会員番号を書いて、

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3の27の1  
神奈川大学宮陵会「本のプレゼント係」へ。

本一冊に付き、はがき一通での応募となります。締め切り 2023年1月31日（火）必着。応募者多数の場合は抽選。当選者は、発送もって代えさせていただきます。（会員番号とは、本号の宛名台紙の下に記載されている番号のこと）

- ① 神奈川大学人物誌 横浜専門学校編  
（神奈川大学資料編集室編、神奈川大学刊、2018年発行）…………… 2冊
- ② 神奈川大学人物誌 神奈川大学編  
（神奈川大学資料編集室編、神奈川大学刊、2021年発行）…………… 3冊
- ③ 『人をつくる 神奈川大学物語』  
（神奈川新聞社編集局編、神奈川新聞社刊、2010年発行）…………… 3冊
- ④ 『神奈川創立六十年周年記念論文集』  
（創立六十年周年記念論文集編集委員会編、神奈川大学刊、1989年発行）…………… 6冊
- ⑤ 『湘南ひらつかキャンパス20年のあゆみ』  
（湘南ひらつかキャンパス開設20周年記念出版編集委員会編、神奈川大学刊、2009年発行）…………… 6冊
- ⑥ 『神奈川大学五十年小史』  
（神奈川大学創立五十周年小史編集委員会編、神奈川大学刊、1982年発行）…………… 9冊
- ⑦ 『東アジアの地域協力と秩序再編』  
（神奈川大学アジア問題研究所編、お茶の水書房刊、2012年刊）…………… 10冊

- ⑧ 『神奈川大学創立七十周年記念 随筆集』  
（創立七十周年記念論文集編集発行実行委員会編、神奈川大学刊、1998年発行）…………… 10冊
- ⑨ 『神奈川大学創立七十周年記念論文集』  
（創立七十周年記念論文集編集発行実行委員会編、神奈川大学刊、1998年発行）…………… 10冊
- ⑩ 『知の作法』  
（杉本剛著、神奈川大学刊、2006年発行）…………… 20冊
- ⑪ 『生きもの歳時記 湘南ひらつかキャンパス』  
（湘南ひらつかキャンパス「生きもの歳時記」編集委員会編、神奈川大学刊、2010年発行）…………… 20冊
- ⑫ 大学生、ボランティアの糧をつなぐ  
（神奈川大学東日本大震災被災地支援室編、橋本盛作刊、2012年発行）…………… 26冊
- ⑬ 『教育は人を造るにあり 米田吉盛の生涯』  
（神奈川大学米田吉盛伝編集委員会編、お茶の水書房刊、2008年発行）…………… 54冊

# 人生のターニングポイントとなった神大

日本情報通信株式会社アスリート社員 石川 拳大(28歳)



いしかわ けんた  
1994年(平成6年)神奈川県生まれ、28歳。2018年経営学部国際経営学科卒業。同年、NTTグループ日本情報通信株式会社(NI+C)にサーフィン競技のアスリート社員として入社。現在は、2児の父でありNI+Cのアスリート社員として国内外の大会に参戦中。また、ライフワークとしてOCEANTREE PROJECTを取り組む。

私は、NTTグループの日本情報通信株式会社(NI+C)のアスリート社員として活動をしているサーフィン選手です。4歳からサーフィンを始め、小学生の頃に湘南へ引っ越しからはサーフィンが欠かせない日課となっております。高校時代はオーストラリアのゴールドコーストに4年間留学した後、2014年に帰国女子で経営学部国際経営学科に入学しました。

いうサーフィンサークルを作り、サーフィンはもちろん映像制作やボランティア活動などを行ったりしていく中で、NAVYZをきっかけに仲間たちも増えていき、本当に楽しい日々だったことを思い出します。

PROJECTという名で、当時受けていた道用大介先生のFootballの授業の仲間たちと共にプロジェクトを進めていました。サーフボードの原点であるアライアという木製の一枚板のサーフボードをテーマに「山と海を繋げたい」という地球規模の自然の循環を表現するものでした。学部としては論文を書くことが卒業条件だったので、何か面白いことをしたいと思い短編映画を制作しました。4年生の頃に「OCEANTREE The Journey of Essence」という短編映画を卒業制作として発表しました。初回上映会には約300名の方々に越えたいいただき、僕たちの想いを届けることができました。

高校生活を海外で過ごしていたため入学当日は友人が1人もいなかったのですが、通学初日、偶然通学中のバスの中で出会った友人や、授業で意気投合した友人など、今でも仲のいい最高の仲間と出会う事ができました。1年生の頃には仲間たちと共に「NAVYZ(ネイビーズ)」と

当時からサーフィンを競技として取り組んでいたため、神奈川大学代表として学生全日本大会や一般の全日本大会で何度か優勝をし、3年生の頃には日本代表として世界選手権大会にも出場することができました。学内の職員、先生、食堂の方々

卒業してからもOCEANTREE PROJECTはライフワークとして続けています。大学に入学したこと、入学してからの出来事も、今思い返せば全てが偶然のような気がします。座右の銘でもある「二期一会」の想いを大切にしながら学生生活を過ごしていたら

全力で応援していただいていたことを鮮明に覚えています。3年生の進路を考える際、ある先生から日本オリンピック委員会が実施しているトップアスリートの就職支援ナビゲーション「アスナビ」を紹介していただき、アスリートとして就職活動をし、そして、サーフィン業界初の社会人アスリートとしてNI+Cに入社することができました。現在はNI+Cのアスリート社員として国内外の大会に参戦中です。

就活と同時進行で進めていたのが卒業制作です。OCEANTREE

素敵な出会いがたくさんありました。仲間、仕事、ライフワーク、さまざまな出会いを与えてくれ、私の人生の大きなターニングポイントとなった大学には感謝の気持ちでいっぱいです。在学中は就職など将来のことを不安に思うことも多々ありましたが、その時を全力で過ごしていれば楽しい未来が必ず待っていると思います。常に「どう楽しく生きるか」を意識しながら過ごしていますが、在学中の学生の皆さんにも日々の生活を全力で自分なりに楽しんで欲しいです。



競技写真

# 人生いろいろ 人それぞれ

## 井上 徹(64歳)



いのうえ・てつ  
1958年(昭和33)年3月東京生まれ、64歳。1980年経済学部貿易学科卒業(貿易研究部。中野宏一ゼミ(貿易マーケティング論)所属)。同年日立リース(株)(現 三菱HCキャピタル(株))入社。海外駐在約17年(シンガポール(13年)、インド(4年))を含め国際業務で38年間勤務。2018年3月、60歳で定年退職。現在地元練馬区でシニアライフをエンジョイ中、♪あなたが思うより健康です!

60歳で定年退職し、地元練馬で地域デビューした。(1)週3、4回ジムに通いヨガを始める。(2)シニアカラオケ会に入会、月1回シニア界のヤングアイドルとして昭和歌謡をうたっている。(3)母親の介護補助を週4日ほど行っていた。ジムやカラオケを通して、歳上の新しい友達が大勢できた。

インドから帰任後約3年半続いた介護が、昨年3月に終わり時間ができた。そんな矢先、散髪屋で長命寺の境内掃除の紹介を受けた。「時間があるならお掃除手伝ってあげてよ。人手不足で困っているようだから」。これだッ!ピンときた。地域貢献で運動にもなる。それに近所だしお



長命寺の石碑の前

給金まで頂ける。お寺のお掃除がシニアライフメニューに加わった。これまで2年弱続いている。体の動く限り、続けるつもりだ。

「お掃除週記」と題して神大出身仲間にもメールしている。字数が許す限りでご紹介させていたたく。

**1** やつてみて分かった。リヤカーを引き、箒3本、熊手にチリトリを使う。結構な労働だ。ご住職曰く、「掃除はスピードではなくクオリティです。お寺に来られる方はお掃除した後の落葉かどうか分かりますから」(最初に思ったのは「住職も英単語使うんだ」)。会社ではスピードもクオリティも両方求められていたので別世界だ。

**2** そもそもいい加減な掃除はできない。仏像やお地藏様に見られている。ごまかしや嘘が許されない。無心で自分自身に正直になれる。心身共に鍛えられる。お坊さんの修行のようだ。私の場合は修行僧見習だな。

**3** 5月、池にカモが2羽やって来た。毎年この時期に卵を産みにくるらしい。でも誰一人卵を見たことがない

ようだ。誰にも言っていないが、私は一つの卵を見つけた。数日後には無くなっていた。カラスが啜<sup>くわ</sup>えて行ったのカモ?長命寺のカモなので、「鴨の長命」と名付けた。来年もまた会おう!

**4** 6月に「紫陽花庭」が完成した。大勢の方が観賞に来られた。有名になるかな?

**5** 「こんにちはー!」大きな声で保育園児が先生に連れられてお散歩。松ぼっくりやドングリ拾い、カエルやトンボを見つけては歓声を上げる。微笑ましい光景だ。

**6** 7月後半、菩提樹の実を拾うおじいさん。奥様がこの実で数珠を作るという。無患子<sup>ムクゴジ</sup>の実でネックレスも作るらしい。奥様のお手伝いで夫婦円満とのこと。いい趣味だ!

**7** 夏が終わると銀杏シャワーが始まる。大きな銀杏の木が4本もある。落ちた銀杏を拾い易いように箒で小分けして、6カ所ぐらいにまとめた。年配女性が数人やって来てお喋りしながら拾っていた。後で見ると律儀にも葉っぱと皮を集めて小山にしてく

れてあった。それを片付けた。

**8** 「姿見の井戸」がある。井戸を覗いて顔が見られたら、長生きできるらしい。梅雨や大雨の後がベスト。水が溜まるので。お試しあれ!

ヨガをしてお寺でお掃除。これって神様のお導き?インド駐在がそうさな?「小さな幸せ、少しの感動、謙虚な気持ち」を与えてくれるお寺のお掃除です。



練馬区の長命寺境内



長命寺南大門前



# 我が軌跡

岐阜県関市在住

清水

昭弘(79歳)

1965(昭和40)年 法経学部貿易学科卒業

古来この街は刃物で名の知られた地であり、江戸期までは刀剣鍛錬が盛んでした。焼入れ後の波状紋が、三本の杉の形を為した「関の孫六」など名刀の産地として名が知られていました。しかし明治の廃刀令以降は、刀剣製造から種々の刃物製造へ移行し活気を生んできました。

私の父も刃物の製造業者であり、主としてポケットナイフを製造していました。父の工場では、昭和30年代まで製造販売が許されていた飛び出しナイフがヒット商品でした。主としてアメリカに輸出されていました。例えば映画「OK牧場の決闘」でカークダグラスがドアに向かって何本もその飛び出しナイフを投げつけたり、「荒野の七人」ではジェームスコバーンが拳銃使いと対決し、早や投げのナイフで相手を倒した場面などに使われたこともありました。しかし飛び出しナイフはやがてその製造も販売も禁止され、一般刃物の製造に方向を変えました。

父の工場の製品がほとんど外国向けの輸出品であったため、岐阜工業高校機械科を卒業した私は神大貿易

学科に入学しました。工場の製品を直接輸出する仕事をやってみようと思っただけです。

大学卒業後は貿易業務を習得するため、名古屋の小貿易商社で2年間見習いの仕事をしました。その後は父の会社へ身を移し、刃物の製造や販売を業務としました。しかし当時も現在も国内では刃物は危険物と捉えられ、刃渡り5.5センチ以上のポケットナイフの製造や所持は禁止となりました。1ドル360円の固定相場制から自由変動相場となり輸出に陰りが出たり、雇用賃金の上昇などの事情が重なり、父の工場を経験の乏しい若者が引き継いでいくことは難しくなり、刃物製造業を閉鎖せざるを得ませんでした。

幸いなことに、大学で学んだ英語力が身を助けてくれました。近隣の子どもを集めて始めた学習塾が軌道に乗り、自宅のほかに2カ所の教室を開き、糊口を凌ぐことが出来ました。もう一つの幸運は、中学時代の恩師から中学校の英語講師を依頼され、続いて高校の英語講師の依頼もあり、10年以上、昼間は高校の英語

講師、夜は学習塾の教師という生活が続けました。しかし、やがて教壇から身を退かざるを得なくなり、塾の経営も困難になりました。



前列左から2人目が筆者、右隣は水口忠彦岐阜県宮陵会会長  
(岐阜県宮陵会総会、22年10月1日、岐阜キャッスルイン)

人生は不運もあれば幸運もあります。30歳を超えた頃、俳句に関心をもち、その道に入りました。師としたのは、著名な山梨県の飯田龍太先生です。俳句は自分の性格に合致し

た文芸であり、一生懸命勉強もしました。そうした折り、神奈川大学に俳句に造詣の深い復本一郎教授が在任されていることを知り、横浜の先生宅を訪れ、面談していただく機会を得ました。その後先生が監修主務を務めておられる通信講座ユーキャンの俳句講座の講師を担当させて頂くことになりました。

現在俳句に関する仕事として、ユーキャンの通信講座のほかNHK学園俳句通信講座、NHK名古屋文化センター俳句講座、中部学院大学市民講座の講師をしております。また、毎月、市内の六句会で指導俳句会を開催しています。少し変わった仕事として、岐阜刑務所収容者の俳句講座も担当しています。

振り返って見れば、神奈川大学貿易科で学んだことは離れた分野での日々でしたが、大学の建学の精神「質実剛健」「積極進取」の気概は忘れずに歩んで来た自負があります。人生の残りの日々も少なくなり、この建学の精神に沿うようにこれからも頑張っていくと思っています。



# 卒業生の声

多くの卒業生から

さまざまな声をお寄せいただきました。

## 一枚のはがき

和歌山県 岡村 光惟(85歳)

1961(昭和36)年法経学部法学科卒業

「若い頃のことを懐かしく思い出しています」。見覚えのある「勝ちヤン」筆跡の今年の賀状は、嬉しくて何度も読み返しました。

20数年振りの時間が埋まりません。彼とは中学からの友です。大学2年生の時、幻の五新鉄道(奈良県五條市から和歌山県新宮市を結ぶ予定だった)計画路を歩いて(一部バス)、紀伊半島を縦断した思い出。私は地方公務員へ、彼は教育者として多くの若人の指導に頑張っている話を度々耳にしました。定年後は行動範囲が狭くなりましたが、いつも心の隅で気に留めながら時が過ぎていきます。車で移動中、彼が畑へ行く姿を遠くから見掛けることがあります。「いつまでも元気で頑張ろうね」と心で呼び掛けながら運転しています。数ヶ月前、新聞購読料集金の方から「岡村さんと友達ですか?」と聞

かされました。その人とは「勝ちヤン」でした。そして、途絶えていた二人の距離を埋めてくれる機会となりました。これからも二人の友情がいつまでも続きますようにと願いつつ暮らしています。

さて、現在85歳、限られた時間を大切にしています。好きな野菜づくり(没頭しています。30アール(3000平方尺)の畑で春に収穫できる野菜や夏に収穫できる野菜(葉菜類・果菜類・根菜類)で汗を流し、わが家の食卓をにぎわせています。多く採れた時はご近所に配り、遠く離れた子供たちにも送り楽しんでいきます。「熱中症になりますよ」と、家内の忠告を聞きながら頑張っています。

## 大倉山の下宿先を訪ねる

静岡県 鈴木 康夫(74歳)

1970(昭和45)年法学部法律学科卒業

卒業して半世紀。神奈川県から宮陵会報などを頂くたびに、学生時代のことを思い出し、誰か知っている人が出ていないかと隅から隅まで目を通し、思い出に浸っております。若い頃は、仕事、生活にも追われたためか昔のことを思う余裕すらありませんでしたが、60歳を過ぎた頃から学生時代のこと、就職し最初に赴任した三重県四日市のことなどが大変懐かしく思うようになりました。

学生時代4年間は大倉山に下宿

していたので、下宿先のおばさんはどうしたかな、下宿先は今どうなっているかなと思ひ、徒歩と電車で神大(白楽駅)大倉山駅(下宿先)まで昔を思い出しながら行ってみました。だいぶ景色は変わっており、特に大倉山は50年前には畑や空き地が多くありましたが、今は商店街になっていました。でも、こういう物があつたなど思いながら、下宿まで歩くことができ満足しました。下宿先付近の建物は新しくなつてはいましたが、道路などはあまり変化がありませんでした。ただ残念だったのは、下宿先のおばさんが施設に入っており、会うことができなかったことです。

当時、中学生だった息子さんは結婚し、その奥さんが話してくれました。時代の流れを感じた一日でした。大学にも寄りました。残念ながらコロナの関係で校内には入れてもらえず、外からの感じではまったく50年前とは変わっていました。コロナが収まりましたらゆっくり見に行こうかと思つています。

柔道部であり、お互いに苦労した同級生とは3年に1回「懐かしむ会」を開催し、部活で大変だったことなどを語り明かすことなどを楽しみに、年金生活を送っています。



## 神大の想い出、再び

神奈川県 松浦幸恵(54歳)

1988(昭和63)年 短期大学部第二部法学科卒業

昭和63年、短期大学部第二法学科を卒業後、市役所勤務を経て、現在鍼灸師をしています。

4年前、弁護士先生の治療を依頼されました。末期癌のターミナルケアです。職業柄とても緊張して伺いましたが、とても温厚な方で安心しました。ご自宅が神奈川県に近いうだったので、話の糸口にと思い、「神奈川県はお近くですか?実は私、短大ですが神奈川県大学の法学科卒業で」と恐れながら聞くと、「えっ神奈川県大学?僕も神奈川県大学だよ、今も一応役員やってるよ」と、嬉しそうにおっしゃり、一気に距離が縮まりました。

西洋医学ではもう打つ手が無く、訪問看護より、私を受け入れて下さいましたが、極寒の冬の時期のため、入院させざるを得なくなり、入院間もなく、天国へと旅立たれました。もつと早く出会ってれば、治療の可能性もあったのに、沢山お話しも出来たのに、勉強もさせて頂きたかったです。今でも、後悔と悲しみで一杯で涙が出ます。

在学中は大変な毎日で、学生生活を謳歌する時間はありませんでした。それでも、それなりに楽しみを

見つけ、充実した日々でした。段々薄れゆく神奈川大学の想い出を、再び蘇らせ、輝かせて下さった先生。今では、ますます愛校心が高まっています。

コロナが終息して、先生も完成を楽しみにしていた、みなとみらいキャンパスを見に行くことを楽しみに生きています。

「こっちは、コロナも戦いも無くて良いよ」と、穏やかに笑っておっしゃっている、先生と一緒に…。

## 恩師への感謝

栃木県 志村 雄偉 (39歳)

2007(平成19)年

経済学部貿易学科卒業

神奈川大学を卒業し、10年以上が経ちました。私は現在、地元の栃木県に戻り、市民を守る消防職員として勤務しています。

大学時代を思い返す度に、ある言葉が頭に浮かびます。それは私の在籍中にゼミを担当された「本を読む力は、生涯の皆さんの人生を豊かにします。本をぜひ読んでください」という恩師の言葉です。私は深い考えも持たずに、ただ受動的に月に1冊の本を読むことにしました。月1冊で年12冊、卒業から10年以上経ち、読んだ本の数を合計すると、百冊以上になります。

ここで、「消防職員に読書って役に立つの？」と思う方もいるかもしれ

ません。しかし、消防職員の仕事は、テレビに出てくるような災害現場での火災・救助・救急の業務だけではありません。例えば、皆さんが買い物に行った際に一度は目にしたことがある、消火器などの消防設備の規制や検査を担当する部署もあります。

私は消防設備を担当する部署に配属されており、災害現場に出動することはありません。「縁の下の力持ち」と呼べるような仕事をするなかで、恩師の言葉「本を読む力」は重要な能力です。現在のようない仕事をすることで、正しい知識を書物や法文から読み取り、仕事に生かすことが欠かせません。

今振り返ると、学生時代に本を読むことの大切さを教えていただいたことは、幸せなことだと感じます。不思議なもので、受動的に始めたはずが今では読書の時間は、私の喜びの時間になっています。

先生ありがとうございます。この喜びを私の幼い子供たちにも伝えていきたいと思えます。

夢の米国  
MBA留学

神奈川県 南山 武男 (69歳)

1978(昭和53)年

第一法学部法律学科卒業

私は日本鋼管で働きながら、神大の夜間部に入学した。陸上競技部に入部し、箱根駅伝出場を目指したが、仕事、勉強、ランニングの3足の草鞋は荷が重く、箱根駅伝予選会前に退部し、その後E.S.S英会話クラブで活動した。

卒業後、日本鋼管の海外事業に携わる中で、米国ビジネススクール(経営大学院)で学びたくて会社の留学制度に申し込みをしたが、夜間大学卒は対象外と断られた。その後、社内の英語試験でトップの成績を取り、仕事で実績を上げた結果、留学試験受験が認められ、約500人の候補者の中で3人に選ばれた。

米国ビジネススクールMBA(経営大学修士)は、当時約800校あり、その中でトップ20が超一流MBA。会社からは、ハーバード、シカゴなどのトップ10しか入学は認めないという決まり。そこでMBA留学予備校を尋ねたところ「夜間大学卒は聞いたことがない、MBA入学は無理だ」と言われた。

MBA入学の選考は、共通試験、大学成績、論文、紹介状で決まり、トップ10は競争率が10倍近くあった。悔しくて死ぬ気で猛烈に受験勉強し、神大ゼミでお世話になった重田

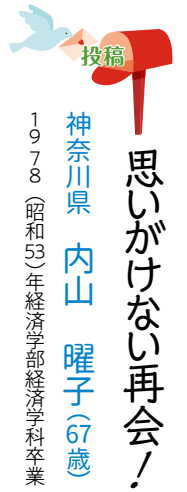
教授の紹介状をいただき、幸運にも数校の合格から、ランキング3位のシカゴ大学を選んだ。

シカゴ大学は、世界大学ランキングで常に10位に入り、ノーベル賞受賞者を100人近く輩出している名門大学。当時経営大学院にもノーベル賞受賞の教授が2名いた。授業は超ハードで、膨大な予習、宿題、そして難解な試験。試験で70点以下は落第。アメリカ人学生らと毎回試験対策をやった。英語が話せない妻と娘二人の学校の世話もあり、プレッシャーは半端ではなく、毎日落第の悪夢を見て、睡眠時間は3時間とれば良い方で、1年目は楽しい学生生活なんて夢の夢だった。しかし2年目は勉強にも余裕が出て、学期間休みには家族でロス、フロリダ、カナダなどに旅行し、アメリカ人や他国の留学生との交流など楽しい生活ができ、留学をして本当に良かったなと思った。MBA留学は、私にとって大きな財産となった。

入学時には英語ができず毎日泣いていた妻が、卒業し帰国する際には「私たちは残るからあなただけ帰国しなさい」というぐらいアメリカ生活に馴染んでいた。

MBA留学ができたのは、重田教授をはじめ多くの方にお世話になり、神大には本当に感謝している。私は努力を惜しまず、決して諦めなければ、夢はかならず叶うと今も強く信じている。





# 思いがけない再会!

神奈川県 内山 曜子(67歳)

1978(昭和53)年経済学部経済学科卒業

私は、1年ほど前から一人の同級生を捜していた。住所も電話番号もわかつてはいるが、この情報は20年前のものだ。電話も2、3回かけたが不在。留守電にメッセージを残したが、違っていたのだろうか。そんな思いですと彼女のことを考えていた。

経済学科J組。たった5人しかいない女子のクラスメートの一人。卒業して郷里の静岡県に帰ったはずなのに、ふとしたきつかけで、神奈川県内に住んでいることがわかった。いつか会えるだろう。いつか会いたい。

その日がこない早く来るとは夢にも思わなかった。三浦半島宮陵会総会の出席者名簿の中に、数人の女性の一人として彼女の名前が並んでいた。44年ぶりの再会。うれしかった。涙が出そうになり、それをぐっとのみ込んだ。

会が終わった後、2人で横須賀中央駅から、どぶ板通りを通り、汐入駅まで歩いた。そして、タリーズコーヒー店でお茶を飲みながら、時がたつのも忘れてしまい、気が付いたら3時間も話しをしていた。最後は飼っている猫の話だった。

再会を約束して駅で別れ、電車の中からホームにいる彼女に見えなくなるまで手をふった。彼女は留守電

のメッセージを聞いていた。しかし誰だかわからなかったらしい。私は旧姓を名乗るのを忘れてしまった。でも確かに彼女に会えた。彼女に会わせてくれた三浦半島宮陵会の事務局長に感謝、感謝、感謝。ありがとうございます。また来年、彼女に会えますように!

## 「卒業生の声」原稿募集

『宮陵』(No72号)の「卒業生の声」欄へのご投稿をお待ちしています。

- ▽発行 2023年4月中旬
- ▽体裁 A4判、72ページ(予定)
- ▽部数 60,000部
- ▽600字程度、テーマは自由、郵便番号、住所、氏名、年齢、卒業年・学科、連絡先(原稿確認用のため。メールアドレス・電話番号(携帯))を明記。
- ▽締め切り 2023(令和5)年2月22日(水)。

掲載分には記念品をお贈りします。原稿は一部手直しする場合があります。  
▽送付先 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
宮陵会本部『宮陵』(No.72号)係。郵送またはメール(kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp)で。  
神奈川大学宮陵会 広報委員会



### 賞品

- ① 神奈川大学箱根保養所
- 1泊2食付ペア宿泊券/3名
- ② 神奈川大学研究室から誕生したクラウドブルーコスメティックシリーズ(センシティブモイスチュアクリームとモイスチュアUVジェル(セット)/5名)

### 応募方法

- ① ご希望の方は、はがきに希望の賞品(①か②)、名前、郵便番号、住所、電話番号(またはメールアドレス)、卒業年・学科、今号の『宮陵会報』(No115号)の感想を書いて、〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1、神奈川大学宮陵会「読者プレゼント係」までお送り下さい。

### 締め切り

2023(令和5)年1月31日(火)消印有効。当選者(抽選)の発表は、賞品の発送(2月中旬)を持って代えさせていただきます。

### 情報をお寄せ下さい

国内外で活躍している卒業生の情報(他薦、自薦)や話題をお寄せ下さい。年2回発行の『宮陵会報』や年1回発行の『宮陵』でご紹介します。

## 「私にとつての湘南ひらつかキャンパス」(仮題)の原稿募集

開設以来34年の歴史を刻んだ「湘南ひらつかキャンパス」は来年4月、平塚の地を離れ「横浜キャンパス」やすでに移転した「みなとみらいキャンパス」でその歴史を引き継ぎ、さらなる発展を遂げます。

そこで、来年4月発行の『宮陵』(No72号)では「湘南ひらつかキャンパスに学んで」(仮題)と題した企画特集をする予定です。つきましては、「私にとつての湘南ひらつかキャンパス」(仮題)をテーマに卒業生のみなさんの思い出やエピソードなどを募集しております。ぜひお寄せください。

① 原稿募集要項  
▽字数 600字程度  
▽テーマは自由。郵便番号、住所、氏名、年齢、卒業年・学科、連絡先(原稿確認用のため、メールアドレス・電話番号(携帯))を明記。  
▽締め切り 2023(令和5)年2月15日(水)。掲載分には記念品をお贈りします。  
原稿は一部手直しする場合があります。  
▽送付先 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 宮陵会本部

「私にとつての湘南ひらつかキャンパス」係。郵送またはメール(kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp)へ。  
神奈川大学宮陵会本部 広報委員会